

診療科の紹介

当院の脳神経外科は昭和53年という早期に開設し、救命救急センターの要として機能してきました。現在においても、北九州の地域医療の一翼を担うため、脳卒中および頭部外傷救急を中心とした救急診療に24時間体制で取り組んでおります。

脳神経外科の対象疾患は、脳卒中全般(脳梗塞や脳出血、くも膜下出血等)、脳腫瘍、頭部外傷、てんかんや水頭症、顔面痙攣や三叉神経痛等の機能外科、脊椎・脊髄疾患等、多岐に渡ります。当科では医療技術の進歩に対応すべく様々な機器・設備更新を行い、最新の脳神経外科治療全般に対応しており、近年では術中神経モニタリング装置を用いた安全な顕微鏡手術や血管造影とのハイブリッド手術を実現しています。また、カテーテルを使用した血管内治療や、神経内視鏡による低侵襲手術、放射線治療、化学療法等も、関連施設である産業医科大学の脳神経外科および脳卒中血管内科と緊密に連繋することで、脳神経疾患全般に対応しています。

現在、常勤医師3名と外来を担当する非常勤医師2名が在籍し診療に当たっております。脳卒中や頭部外傷をはじめとした緊急手術を要する疾患が救急搬送されたため、当院の救命救急センターにおいては、初期対応から診断、治療に至るまで、専門医による診療を実施できる体制を24時間体制で取っております。

取り扱う主な対象疾患

【脳卒中全般】

24時間体制での迅速な診療(脳梗塞に対する超急性期再開通療法、脳出血・くも膜下出血等出血性脳卒中、頭部外傷の緊急手術)に対応することができます。再開通療法を必要とする症例については、産業医科大学の脳卒中血管内科と連繋し、24時間体制で機械的血栓回収療法にも対応しています。

外科治療に関しては、脳動静脈奇形、硬膜動静脈瘻、内頸動脈狭窄症に対する頸動脈内膜剥離術や脳梗塞発症の危険性が高い脳動脈狭窄・閉塞症、もやもや病に対する血管バイパス術、くも膜下出血の原因となる脳動脈瘤の手術(破裂および未破裂)を実施しております。

【頭部外傷】

救急外来における迅速な診断のもと、必要に応じた緊急穿頭および手術室での開頭手術にも対応しています。頭蓋内圧モニタリング下での集学的脳保護療法を実施し、さらなる機能回復のための急性期リハビリテーションも実施しています。

【その他の対象疾患】

脳腫瘍・顔面痙攣・三叉神経痛・てんかん・頭痛・水頭症・慢性硬膜下血腫など、様々な脳神経外科疾患についても全般的に対応しています。

スタッフ紹介



脳神経外科主任部長

みやおか りょう
宮岡 亮

脳神経外科部長

みやち ひろし
宮地 裕士

脳神経外科副部長

のぐち しょうへい
野口 祥平

診療科の特徴

【脳血管外科手術、ハイブリッド手術】

脳卒中の原因となる脳動脈狭窄・閉塞や脳動脈瘤といった病態に対し、脳卒中の発症を未然に予防すべく脳血管バイパス手術や脳動脈瘤クリッピング術などの脳血管の外科治療を実施しています。近年の医療技術の進歩により、脳血管造影検査を手術中に実施することで、より安全に難易度の高い脳血管外科手術を行うことが一部の施設で可能となりました。当院は、その手術(ハイブリッド手術といいます)を実施するためのCT装置、血管造影装置を兼ね備えた手術室を導入し、積極的にこの設備を利用した外科手術を実施しています。

【術中神経モニタリング】

患者さんが眠っている全身麻酔下手術において、術中に運動麻痺や感覚障害などの後遺症の発生を予測する事は、以前は困難でした。しかしながら、近年では術中の神経刺激によって生じる脳波や筋電図の変化を経時に観察することで後遺症を予想する方法が開発され、その実用化が広くすすめられることにより脳神経外科手術はより飛躍的に安全に施行できるようになりました。当院においても、手術による後遺症の発生を未然に防ぐために、術中神経モニタリングを行い、より安全な手術を実施しています。

【頭蓋内圧モニタリング】

頭部外傷によって生命の危機に直面する直接原因として、頭蓋内圧の上昇が挙げられます。頭蓋内圧が上昇すると脳の不可逆的なダメージが蓄積し、最終的には致命的となります。頭蓋内圧は頭蓋内にセンサーを留置することにより、リアルタイムに観察することが可能です。当院では、精度の高い頭蓋内圧モニターを有しており、持続的なモニタリングを駆使した正確な病状観察により全身管理と適切な時期での外科手術を実施することができます。

診療実績(令和3年度下半期実績)

| 手術(術式) | 件数 |
|-----------------|----|
| 脳動脈瘤クリッピング術 | 6 |
| 頸動脈内膜剥離術 | 2 |
| 脳動脈バイパス術 | 1 |
| 頭蓋内血腫除去術(脳内) | 5 |
| 頭蓋内血腫除去術(硬膜下・外) | 2 |
| 脳室腹腔シャント術 | 3 |
| 穿頭血腫除去術 | 11 |
| その他 | 8 |